

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公表番号】特表2011-511625(P2011-511625A)

【公表日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2010-543378(P2010-543378)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 16/32 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/574 A

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月19日(2011.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号11、12または15で示されるアミノ酸配列からなる、腫瘍悪性度のための新規マーカー。

【請求項 2】

腫瘍が黒色腫である、請求項1に記載のマーカ。

【請求項 3】

マウス、ウサギ、ヤギまたはロバを、配列番号11、配列番号12および配列番号15からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するペプチド断片で免疫することにより作製される単離抗体であって、配列番号1のアミノ酸18-282、221-235および303-352からなる群から選択されるペプチド断片に結合することにより、ヒトTUCAP-1タンパク質を認識することができる、抗体。

【請求項 4】

抗体がモノクローナル抗体であり、IgGアイソタイプIgG2AまたはIgGアイソタイプIgG1に属する、請求項3に記載の抗体またはその断片。

【請求項 5】

ヒトTUCAP-1タンパク質に対するモノクローナル抗体であって、腫瘍成長妨害活性または転移妨害活性を有し、マウスを配列番号11、配列番号12および配列番号15からなる群から選択されるペプチド断片で免疫することにより作製され、配列番号1のアミノ酸18-282、221-235または303-352の間に位置する立体もしくは直線エピトープに結合することにより、ヒトTUCAP-1タンパク質を認識する、抗体。

【請求項 6】

配列番号11、配列番号12および配列番号15からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するペプチド断片で免疫した選択されたマウスの脾臓細胞を用いて、ヒトTUCAP-1の立体もしくは直線エピトープに結合することができるモノクローナル抗体、またはそのようなモノクローナル抗体の断片もしくはヒト化形態または該断片の一本鎖形態を産生することにより得られる選択されたハイブリドーマであって、該エピトープが配列番号1のアミノ酸18-282、221-235または303-352の間に位置する、ハイブリドーマ。

【請求項 7】

インビトロで悪性腫瘍を検出するためのキットであって、配列番号1のアミノ酸18-282、221-235および303-352からなる群から選択されるペプチド断片に結合することによりヒトTUCAP-1タンパク質を認識することができる抗体；ならびに配列番号1、11、配列番号12および配列番号15からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するペプチド断片を含む力価(titred)ポジティブコントロールを含んでなり、該抗体が腫瘍を患う患者の組織および体液から配列番号1に示す癌タンパク質を検出するために使用される、キット。

【請求項 8】

腫瘍が黒色腫である、請求項7に記載のキット。

【請求項 9】

腫瘍細胞において配列番号1の発現の存在または非存在を決定する工程を含む、インビトロで悪性腫瘍を診断する方法。

【請求項 10】

腫瘍が黒色腫である、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

配列番号1の発現の存在または非存在が、配列番号1のアミノ酸18-282、221-235および303-352からなる群から選択されるペプチド断片に結合することによりヒトTUCAP-1タンパク質を認識することができる抗体によるTUCAP-1タンパク質の認識を含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 12】

腫瘍細胞において配列番号1の発現の存在または非存在を決定する工程を含む、腫瘍の悪性度の進行を追跡する方法。

【請求項 13】

腫瘍が黒色腫である、請求項12に記載の方法。

【請求項 14】

配列番号1の発現の存在または非存在が、配列番号1のアミノ酸18-282、221-235および303-352からなる群から選択されるペプチド断片に結合することによりヒトTUCAP-1タンパク質を認識することができる抗体によるTUCAP-1タンパク質の認識を含む、請求項9に記載の方法。

03-352からなる群から選択されるペプチド断片に結合することによりヒトTUCAP-1タンパク質を認識することができる抗体によるTUCAP-1タンパク質の認識を含む、請求項12に記載の方法。

【請求項15】

配列番号1の発現を阻害する工程を含む、腫瘍細胞の食作用特性を阻害する方法。

【請求項16】

該発現がTucap-1遺伝子の発現を抑制することにより阻害される、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

腫瘍細胞に配列番号2もしくはその部分と実質的に相補的な、またはTUCAP-1 mRNAもしくはTUCAP-1特異的制御因子と相補的な単離核酸配列を含む発現ベクターを導入する、請求項15に記載の方法。

【請求項18】

治療上有効量の化学治療剤と結合したTUCAP結合剤を含む、癌処置用医薬組成物。